



学校評価の目的

学校評価の目的(文部科学省)

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

長洲小学校では、学校評価を通じて
学校教育の改善と、児童・保護者・地域の
ニーズに応える学校づくりを目指します。

学校評価委員一覧

校長・教頭

学校評議員

PTA代表



尼崎市立長洲小学校

〒660-0801

住所: 尼崎市長洲東通

3丁目7番1号

電話: (06)6488-0490

Fax: (06)6488-0491

尼崎市立長洲小学校 平成25年度 学校評価報告書



教育目標

な・・・なかよくたすけあう子
が・・・がんばりきたえあう子
す・・・すすんで考える子

本年度の努力事項

1. 個性の尊重と基礎基本の定着
確かな学力の育成
 - ・言語活動、読書活動の充実
 - ・特別支援教育の推進
 - ・家庭での学習習慣づくり
2. 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・道徳教育の充実
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・健康の増進と体力の向上
3. 家庭、地域、関係機関との連携
 - ・地域と連携した安全・安心な教育環境づくり
 - ・保護者や地域に信頼され、活力に満ちた学校づくり



校長: 山内宏美

本校の学校経営理念 「心豊かに学びあう子の育成」

長洲小学校では「心豊かに学びあう子の育成」を理念として掲げ、「な(なかよくたすけあう子)、が(がんばりきたえあう子)、す(すすんで考える子)」を育てるために、平成24年度は以下の4つの柱をたてて教育活動をすすめてきました。

な…なかよくたすけあう子(徳)

- ・**道徳教育の充実**: あいさつ運動、もくもく掃除、生活目標への取り組み、道徳の授業の充実
- ・**コミュニケーション能力の向上**: あいさつ運動、特別活動での異年齢交流

が…がんばりきたえあう子(体)

- ・**健康の増進と体力の向上**
基本的な生活習慣の確立

す…すすんで考える子(知)

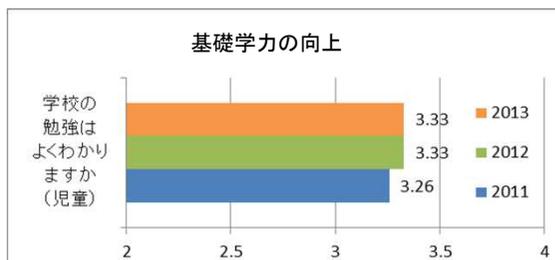
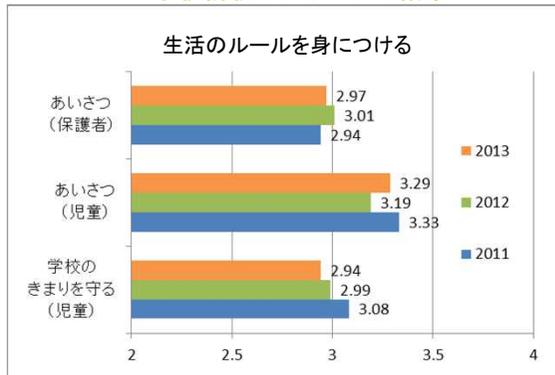
- ・**言語活動・読書活動の充実**
- ・**学習習慣の定着**: のびっこタイム、学力補充の日、家庭での自主的な学習習慣づくり

開かれた学校

- ・**安心して通わせることのできる学校づくり**:
学校だより、ホームページ
携帯メール配信、参観日・行事

本年度の取り組み評価

～学校評価アンケートの結果～



各取り組みの成果と評価

①道徳教育の充実【評価 2】

本年度も、思いやりやコミュニケーション能力を育むことを目標に道徳教育に取り組んできました。子どもたちは、相手の気持ちを考えて話しているようですが、嫌われたくないという思いから「いけないことはいけない」とか相手の立場に立って話すことがなかなかできないようです。

また、困っている友達にどうしてあげるのがよいか、思いやりのある言葉とはどんな言葉か迷っているようです。道徳や特別活動の授業はもちろん、いろいろな学校生活の場面をとらえて指導していますが、まだまだ辛抱強く継続することが大切だと考えています。

②生活のルール、規範意識を身につける【評価 2】

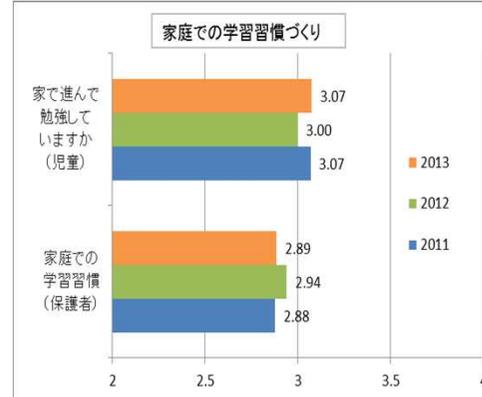
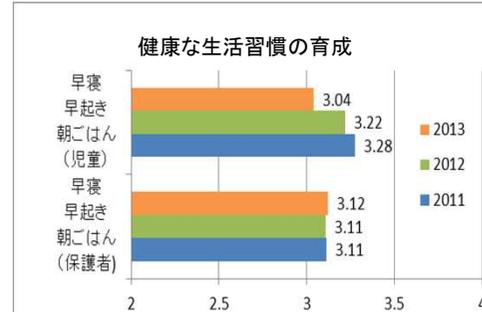
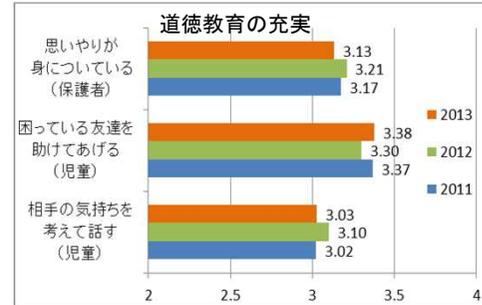
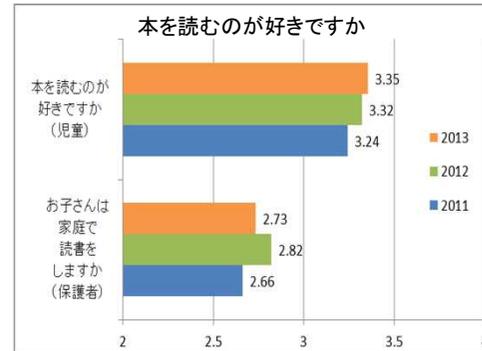
学校生活(集団生活)に必要なルール等のスキルの向上を目指して、「あいさつ運動」、学習用品、名札等の「忘れ物チェック」遅刻をしないなど「時間を守る」また、校内・校外での遊びの「きまりを守る」などに取り組んできました。しかし、保護者の方からのアンケートの結果にあつたように、家でも学校でも、地域でも注意されても素直に謝れない、きまりを守れない児童が高学年を中心に増えてきているようです。今年度は放課後や休みの日の遊び方で、物を壊すなどの苦情が多くなりました。また自分から進んでやるのが少ないということが、結果からみられました。今年度は、放課後や休みの日の遊び方で、地域の方々からの「苦情」が多くなりました。「きまりを守る」「物事の善悪がわかる」「素直に謝る」等の指導を保護者と連携を取りながら継続していきたいと考えます。

③体力の向上【評価 3.5】

本年度も俊敏性や持久力を高めることに取り組んできました。水泳、縄跳びに加えて、今年度も運動量の少なくなる冬にジョギングを取り入れました。高学年では記録会を目標に自主的に運動能力を高める取り組みをする児童が出てきました。今年度の体力テストでは、「走」が県の平均より低く、来年度は、「走る」ことをとりいれた体育の授業で楽しく運動量を増やすように計画したいと考えています。

④健康な生活習慣の育成【評価 2.5】

昨年よりも「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が少し崩れていることが、アンケートからも見てとれます。特に、寒くなつてからは、朝起きられずに欠席や遅刻をする子が増えていきます。高学年では、夜中までメールをしていて学校で学習に集中できず、イライラしたり、保健室で寝たりと生活習慣がかなり乱れてきています。また、肥満傾向児は横ばいになっていることは良いことですが、朝ご飯の内容に問題が感じられます。家庭でのルールの見直しや朝ご飯をしっかりと食べるなど、家庭への啓発に取り組んでいきます。



⑤家庭での学習習慣づくり【評価 3】

今年度も、全校で足並みを揃えて宿題を出すように計画し、実施しました。家庭での学習習慣はついてきたようですが、「自分から進んで」という目標は、3年間比較しても不十分であるように思います。全国や県の平均よりも本校は家庭学習の時間がかかり少ないことから、宿題だけでなく、予習や復習、自主学習にも力をいれたいと思います。

⑥基礎学力の向上【評価 3.5】

のびっこタイム、学力補充の日、放課後学習(3・4年)の実施、わかる授業、楽しい授業を目指し、複数の先生がクラスに入って、授業をしたり、教科で担任を交代したりしました。学校の勉強はよくわかると答える子が増えてきています。

⑦言語活動・読書活動の充実【評価 4】

今年も言語活動・読書活動に力を入れてきました。特に週末のうち読、国語と関連した読書指導計画の作成・実施を行ってきました。子どもたちの読書量は少しずつ増え、親子で本を読む機会が増えたなど、子どもたちの家庭での読書の習慣化が図られているようです。

⑧安心して通わせることのできる学校づくり【評価 3.5】

昨年度に引き続き、学校通信やホームページに加え、保護者へのメール配信も行っています。アンケートの結果、多くの保護者の方が、子どもは楽しく学校に通っており、安心して学校に通わせることができると答えてくださいました。耐震工事も平成26年度から具体的に動き出すことになっております。今後の予定も計画がわかり次第お知らせいたします。

評価基準

～以下の基準で各取り組みを評価しました～

- 1 実施の効果も取り組みも不十分である
- 2 実施の効果は不十分であり、取り組みにも改善の必要がある
- 3 実施の効果はある程度認められるものの、取り組みに改善の必要がある
- 4 実施の効果は概ね満足でき、取り組みも満足できる
- 5 実施の効果が十分満足でき、取り組みも満足できる

総合評価とまとめ

【総合評価 3】

地域、見守り隊、PTAの方々による登下校の見守りや教職員の下校指導もあり、大きなけがもなく子どもたちが学校に通うことができました。また、授業の見守りにつきましても保護者の方々のご協力お礼申し上げます。

今年度も、昨年度の学校評価から明らかになった課題「規範意識の向上」「健康な生活習慣づくり」「家庭での学習習慣づくり」「体力の向上」を中心に取り組んで参りました。「家庭学習の取り組み」や「言語活動や読書活動の充実」「体力づくり」には一定の成果が見られました。来年度は、「規範意識の向上」「健康な生活習慣づくり」を保護者との連携を強化し、重点的に取り組みたいと考えています。このたび「学校評価アンケート」でいただいた貴重なご意見は、今後の学校経営の参考にさせていただきます。そして、今年度の成果を継続しつつ、新たな課題に加え、来年度も教職員一丸となって長洲小学校の教育に取り組んで参ります。